

神戸市感染症発生動向調査週報

2015年2月10日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第 6週 2015年2月2日 ~

2015年2月8日

設置定点数 48 ケ所

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	70	44	39	33	102	40	68	203	182	781		9	28	28	38	53	50	64	34	43	39	167	37	25	59	60	19	17	6	5

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	3		1			1	4	5	4	18	3	2	8	2								2	1	
咽頭結膜熱		2					2		1	5			1	3								1		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	10	1		7		2	5	16	49			1	1		11	4	8	1	8	2	13		
感染性胃腸炎	12	7		8	50	12	33	87	19	228	3	5	26	22	25	25	19	14	13	8	3	19	8	38
水痘	3		5		1		3	6	4	22		4	4	2	6	2	3	1						
手足口病	1						2	2	1	6			2		2	2								
伝染性紅斑								1	1	2								1	1					
突発性発疹		2			1		1	7	4	15	2	4	7	2										
百日咳																								
ヘルパンギーナ	2							3	2	7		1	1	2	1	1		1						
流行性耳下腺炎				1				1	1	3						1	1		1					

インフルエンザは警報水準の流行が続いていますが、患者数は2週間連続で減少傾向となっています。流行の目安とされる定点あたりの患者数は16.3人で、これが10人を切ると警報水準は解除となります。インフルエンザはA型に続いてB型が流行するのが例年の傾向で、A型インフルエンザの流行ピークは越えたと思われませんが、市内ではこれに代わってB型インフルエンザが徐々に増加しています。インフルエンザは稀に重症化することがあり、息が苦しう、顔色が青白い、目がうつろ、呼びかけに応じない、意味不明なことを言うなど、肺炎や脳炎などインフルエンザの重症化のサインが1つでもあれば、すぐに医療機関を受診してください。

報告定点数 10 ケ所

眼科

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	1			1						2																1		1	

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○カンピロバクター腸炎(鶏肉を喫食)1例;5～9歳男(6102)
 北 区○インフルエンザの家族・友人等からの2次感染7例(6503)
 北 区○アデノウイルス感染症1例;0～4歳男(6505)
 西 区○ロタウイルス感染症2例(6903)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は8人(うち潜在性結核感染症1人)です。

【市内の感染症の状況】

インフルエンザの**警報水準**が続いています(平成26年第52週～)

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [検索]

または、神戸市ホームページ上段のパナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2015年2月12日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0-4歳	2015年2月2日	2015年2月3日	2015年2月7日	病原体不明	臨床決定	嘔吐、意識障害、髄液細胞数の増加	不明	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0-4歳	2015年2月4日	2015年2月4日	2015年2月6日	血清型未実施	血液培養法	発熱、肺炎、菌血症	不明	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	60代	2015年1月31日	2015年2月2日	2015年2月2日	血清群：A群	血液培養	ショック、肝不全、腎不全等	不明	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	60代	不明	2014年12月12日	2015年1月28日	/	腔分泌物からの培養法	膣炎	不明	

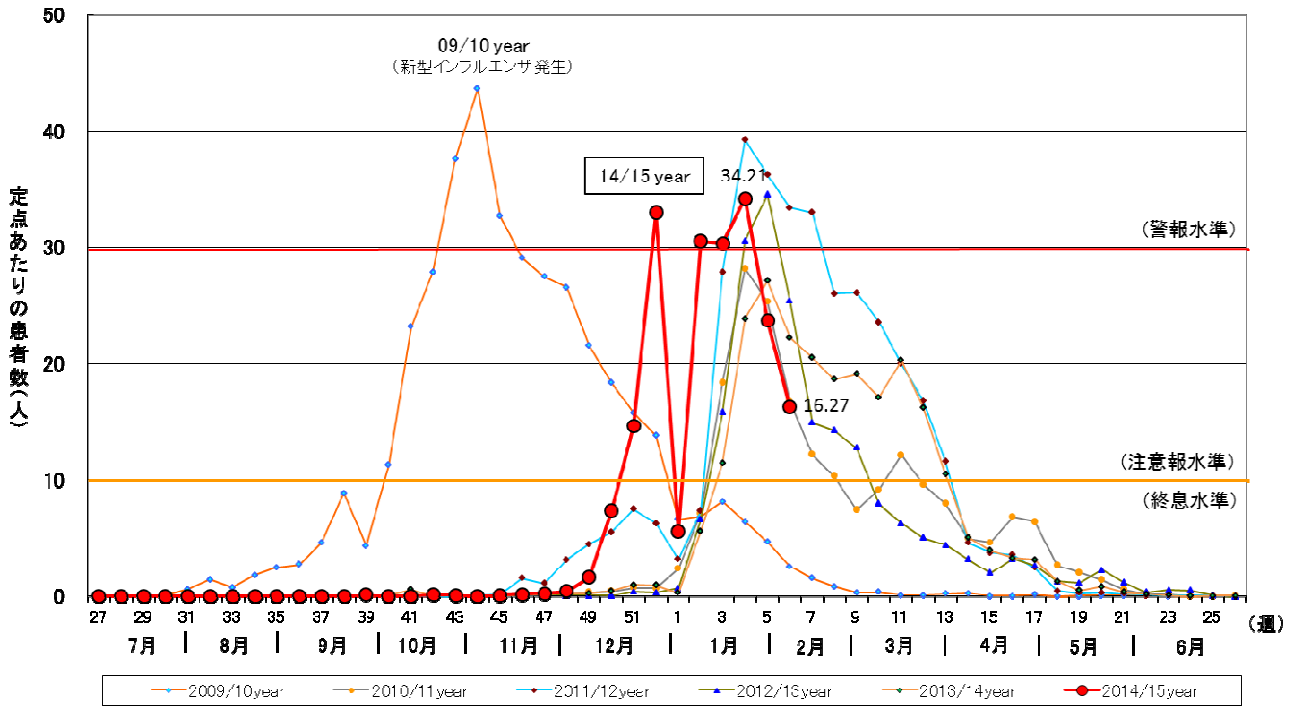
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2015年1月4日	2015年1月8日	2015年1月30日	腸管アメーバ症	鏡検による病体の検出(大腸粘膜組織)	下痢、腹痛、発熱	不明	
男	40代	2015年1月25日	2015年1月28日	2015年2月10日	腸管アメーバ症	血清抗体の検出	粘血便、しぶり腹、大腸粘膜異常所見	異性間性的接触	

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型インフルエンザウイルス(A/H3、香港型)	鼻腔拭い液	東灘	5歳3ヶ月女児(1/19採取、39.6℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)
	鼻腔拭い液	中央	6歳10か月女児(1/31採取、39.4℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み)
	鼻腔拭い液	北	13歳女性(2/2採取、39.4℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み)
B型インフルエンザウイルス(山形系統)	鼻汁	北	7歳1か月男児(2/2採取、37.8℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み)、家族内発生、通っている小学校でも欠席者多数。
単純ヘルペスウイルス1型	咽頭拭い液	垂水	1歳3か月男児(1/28採取、38.0℃、発熱、口内炎)
ノロウイルスGI	便	中央	2/11に飲食店を利用した1グループ3名が、2/2から下痢、発熱、嘔吐等の症状を呈した。当所で検査を行った患者3名および従業員4名のうち、患者1名からノロウイルスGI、患者2名からノロウイルスGIIを検出した。
ノロウイルスGII	便		
	便	北	12歳5か月男児(2/4採取、38.4℃、感染性胃腸炎)、家族内発生。

定点あたりのインフルエンザ患者報告数

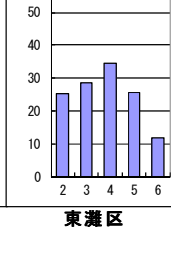
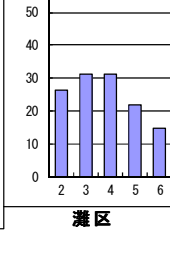
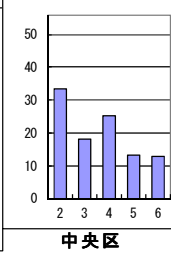
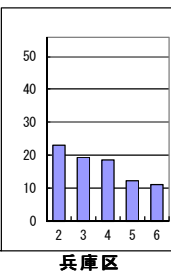
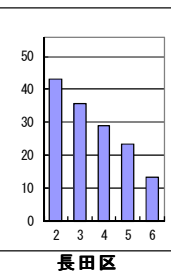
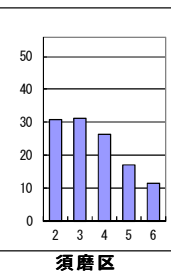
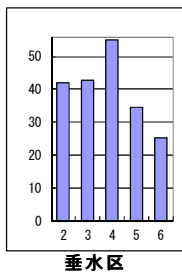
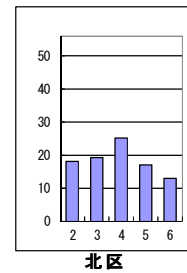
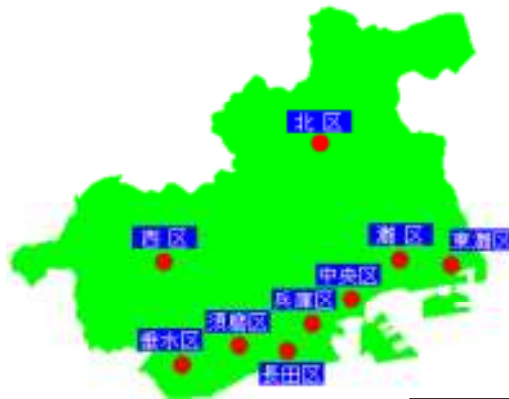
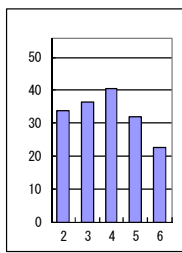


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

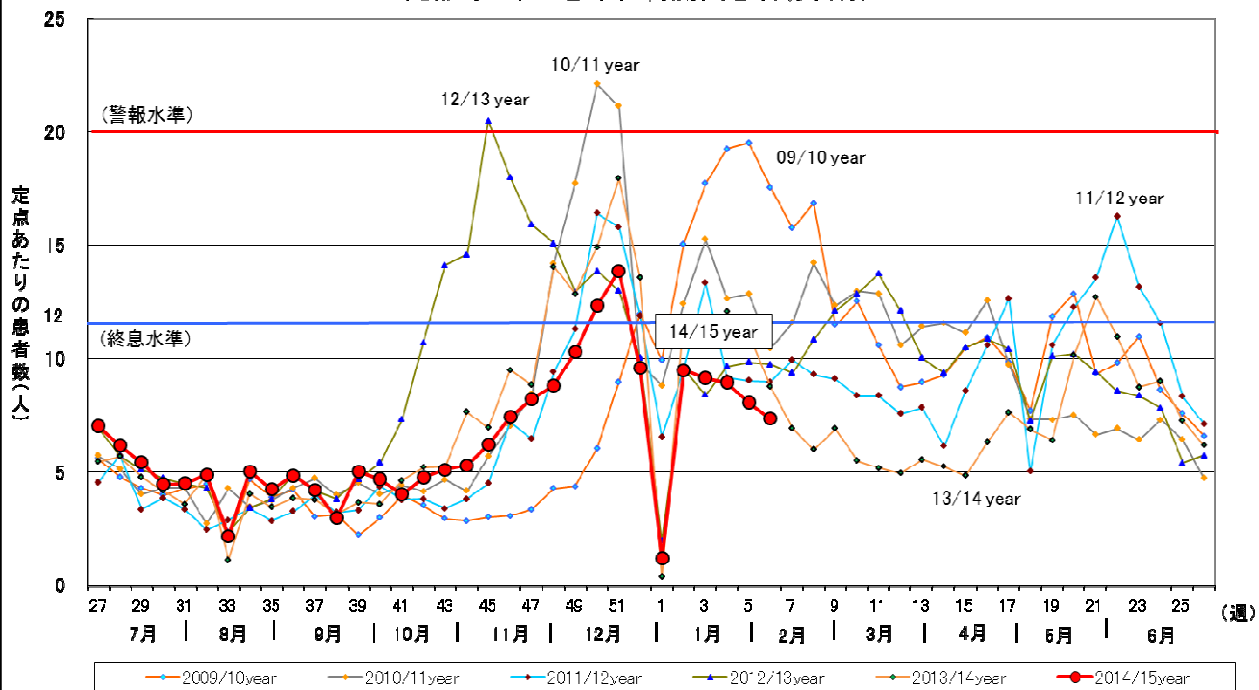
第 2 週 2015年1月5日

～ 第 6 週 2015年2月8日

(インフルエンザ)



定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 2 週 2015年1月5日

～ 第 6 週 2015年2月8日

(感染性胃腸炎)

